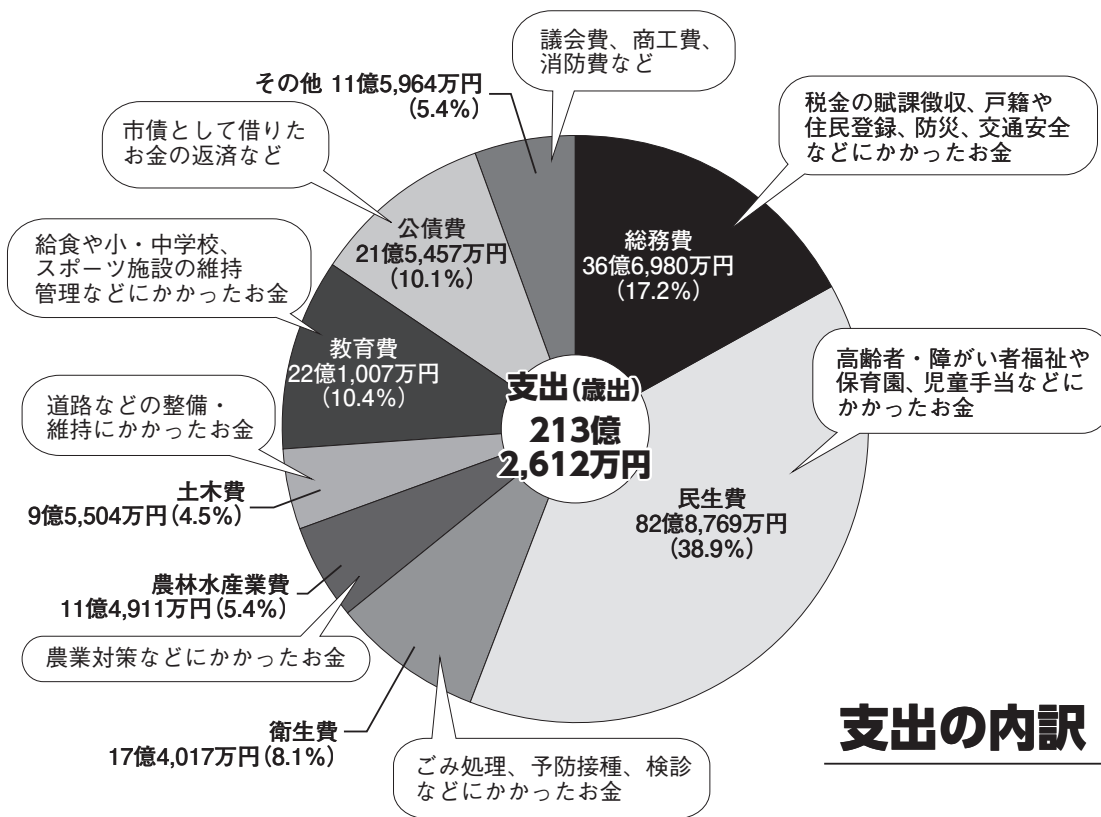


議論の中から新発見



支出の内訳



▲改修された佐織支所

◆公共施設等総合管理計画が策定されました
事業費544万円
(自主財源)

Q 策定方法と今後は。

A 公共施設等の更新・統廃合、長寿命化等を図るため、総合管理計画が27、28年度で策定された。

策定期間中に、市民の理解を深めるために、市内の18歳以上の1500人を対象にした、本市の公共施設等を取り巻く実情や課題を捉えていただくためのアンケートを実施した。

また、28年10月3日から1カ月間、パブリックコメントを実施し、29年1月19日にホームページに公表した。周知、説明については、「広報あいさい」等で周知を図った。

◆がん検診を推進しました
事業費9382万円
(内交付金等145万円)

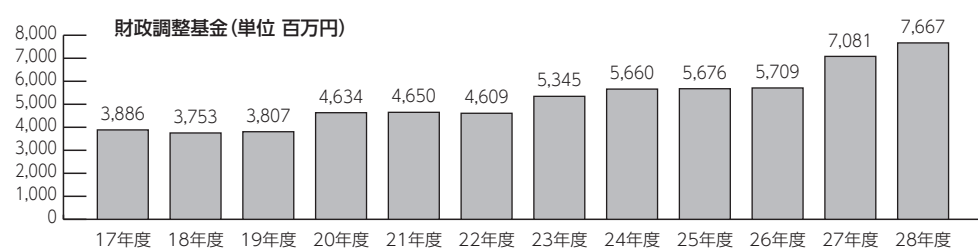
Q 検診の成果は。

A インターネットによる申し込みの追加や検診日の託児を実施するなどして、受診率向上を図った。

集団検診で早期発見者の数は、乳がん検診で2人、大腸がん検診で1人、前立腺がん検診で3人という状況であった。

◆財政調整基金が77億円になりました

財政調整基金とは、経済事情や災害などで予期せぬ減収や支出を埋めるための貯金。今後、一応の基金を確保しつつ、公共施設の整備基金に移行させ、適正管理していく。



▲財政調整基金残高の推移